

松前地域漁業振興経営多角化実証計画の概要

渡島総合振興局 水産課

計画概要

現状と課題

- ・松前地区では、近年の海洋環境変化による回遊性魚種の資源減少に加え、クロマグロの資源管理措置等により、マグロ漁業者の漁業経営は厳しい状況となっている。
- ・漁業経営安定化を図るためには、回遊性魚種に依存しない、養殖業などを中心とした新たな産体制づくりが必要。
- ・新たに養殖業への新規参入にあたっては、養殖施設や資材購入に係る経費のほか、労働力の確保等が大きな課題。

取組内容

■マグロ漁業（既存）とコンブ養殖の複合経営の実証事業

○マグロ漁業者を中心とした漁業者グループを組織し、既存漁業にコンブ養殖業を加えた新たな生産体制を構築し、漁業経営の維持、安定を図る。

【R2年度補助事業】

- ・事業主体 : 松前さくら漁業協同組合
- ・事業内容 : コンブ養殖施設（ブロック8基、養殖資材 等）
- ・事業費 : 7,286千円（うち道3,312千円、松前町2,484千円、松前さくら漁協1,490千円）

期待される効果

（1）コンブ養殖業の生産体制を整備

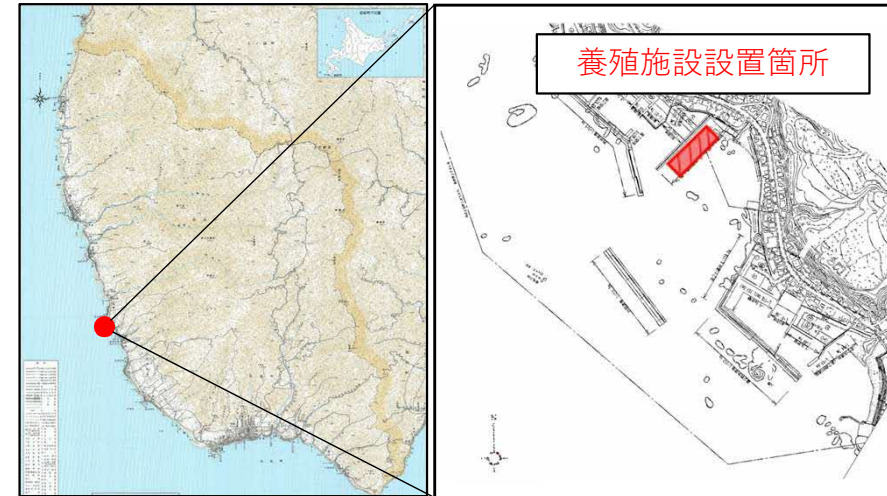
マグロ漁業者を中心としたグループがコンブ養殖へ新規参入して水揚増大

（2）設備導入・労力確保が不要な出荷体制

コンブ養殖施設を共同で管理を行い、1人あたりの作業回数及び作業時間を短縮することにより漁業者個々の大幅な労力軽減

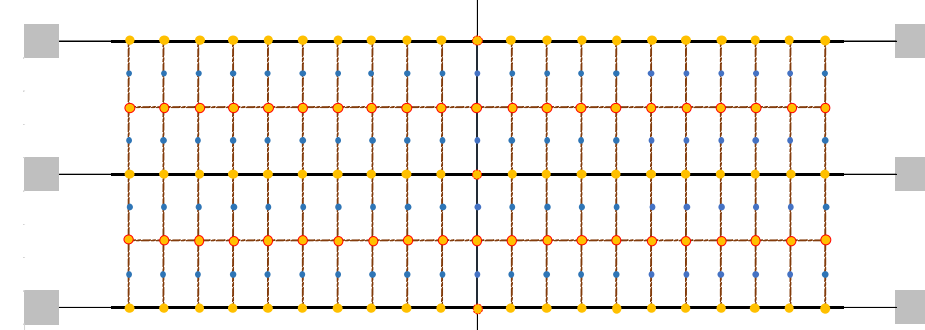
漁場等について

■静浦漁港（静浦地区）位置図



■養殖施設イメージ図

（平面図）



（断面図）

